

岡田三郎助作 山形仲藝博士寿像

史料館の名品・珍品を随時ご紹介する「コレクション紹介展」。第2回は、東北帝大医科大学初代学長の山形仲藝(やまがた・なかき/1854-1922)の肖像画です。

作者の岡田三郎助(おかだ・さぶろうすけ/1869-1939)は、明治後期から昭和初期にかけて我が国洋画界の中心的存在として活躍した洋画家で、当時東京美術学校教授をつとめていました。代表作として「婦人像」



(1907年、ブリヂストン美術館所蔵)などがよく知られています。1937年には第1回文化勲章を受章しています。

モデルの山形は、越前国足羽郡(現福井市)の出身で、1889年(明治21)に第二高等中学校医学部の部長として仙台に赴任。以後仙台医学専門学校長・東北帝大医科大学長および附属医院長等、一貫して仙台の医学教育機関の長をつとめた医学者です。

肖像画は、明治45(1912)年、山形教授らの在職25周年に際しての記念品として制作し、本人に寄贈されたものです。肖像画が教授たちの「ステイタス・シンボル」であった時代を象徴する作品のひとつです。

展示予定期間 2011/11/18(金)~12/23(金)